

今回は、第2回FRH講演会・PTフォーラムの報告です。

◇ 京都精華大学長のウスビ・サコ先生のオンライン講演会を開催しました！

日 程： 2020年11月29日(日) 主 催： 関高校PTA、関高校
参加者： 生徒・保護者の希望者130名
演 題： 「これからの未来に向けて若者たち、保護者のみなさんへのメッセージ」
内 容： 生徒及び保護者の代表が、サコ先生の講演会(校内実施)に参加する様子を、各家庭にオンラインシステムで配信しました。

◇ ウスビ・サコ先生の紹介

マリ共和国出身。日本初のアフリカ系学長。京都大学大学院で建築学を専攻。住宅計画・住まい・住み方を研究。様々な国で調査、行動観察により良い人間関係やコミュニティを築く環境を研究。2018年、京都精華大学長に就任。英語、フランス語、中国語に加え、流ちょうな関西弁を話す。教育論、日本社会論、アフリカ論などの著作多数。

◇ 講演会を終えて 岡田英賢PTA会長

本年度のPTフォーラムはコロナウイルス感染予防対策をとり、オンライン講演会となりました。オンラインでの講演会とはなりましたが、私自身とても興味深い講師の先生でありました。京都精華大学学長 ウスビ・サコさん。西アフリカのマリ共和国出身で、アフリカ系として初めて、日本の大学の学長となられた方です。

講演は、マリ共和国の文化風習、学生時代の留学体験、京都精華大学での学生たちとの話、海外から見た日本の姿、これからのグローバル社会をどう生きるのか?..など、時にユーモアを交えわかりやすくお話頂き、1時間の講演時間はあっという間に過ぎていきました。

代表の生徒たちもサコさんの話を一生懸命に聞いています。講演が終わり座談会となり生徒たちは感想や質問をサコさんに投げかけます。それらの問いに対して一人一人に丁寧に的確なアドバイスをするサコさん。世界はこれからどんどんと地域や国家といった枠を超え、政治や経済だけでなく文化や芸術などにおいてもお互いに影響を与え合うグローバルな社会に加速していくことでしょう。サコさんはそんな時代に大切なことは主体性と協調性だと話されました。「自分の意見をしっかりとと言えること」と「相手を認め、関心を持つこと」が大事だと。

私はその時、マザーテレサさんの言葉を思い出しました。「愛の反対は憎しみではなく無関心です」という言葉です。

どんな時代になっても人は一人では生きていきません。そして人に傷つけられて悩むこともあります。でも、それを癒してくれるのも、これもまた人の優しさです。誰かの言葉に力をもらったり、かけがえのない瞬間を分かち合ったり、ふとしたきっかけで新しい世界が広がったり、生き方も考え方も違う誰かとの出会いが私たちの生き方を変え、私たちの未来を作っていきます。サコさんの言葉は私たち日本人にもっと主体性(個性)を大切に、相手に関心を持つこと(優しさ)を忘れないでと、まさにこれからの未来に向けての生徒たちへの「がんばれ」のエールのようにありました。



◇ 生徒の感想

◆今日の講演会を受けてすごく自分の考え方が変わりました！一番心に残っているのは、私の2度目の質問に対するサコ先生がくださった回答です。「自分の意見が分からなくなるのは、対話をしていないからだ。」という言葉に気づかされました。私はずっと人の話を聞くけど、自分は話していませんでした。これからは、サコ先生が言われたように2つ聞いたら2つ質問して学ぶ姿勢を大切にします！

◆本日はお忙しい中ご講演いただきありがとうございました。ぼくは今日の話聞いて自分が未来を作っていくという責任があり、そのために何を変えていくべきか、何が求められているのかを自覚することができました。異文化に触れるということは、お互いに異文化同士ということですからとても難しいと思います。でも相手に寄り添って対話をする事で得られるものは大きいと思いました。今日学んだことを心に刻んでサコ先生のように多様性のある人間になりたいと思いました。ありがとうございました。

◆今回のサコ先生のお話を聞いて、色々なことを学べたので良かったです。話を聞いて一番印象に残ったことは、これからは自分の価値観や文化と他の人のそれらを共存させていくことが必要だという点です。そのためには、まず相手のことや文化についてよく知るべきだと思います。私は外国の人に会った時に、外国の人というだけで何となく話しかけづらいと思うことがあります。また、例えば障がいのある人など、自分と違う環境や立場の人と話す時、「これは言ってもいいことなのか」「失礼ではないか」などと考えてしまい、声をかけられなかったり、何となく避けてしまうことがあります。

サコ先生が、日本人は心の中で色々考えて自分を抑えてしまうと仰っていましたが、まさに私はそれだなと思いました。でも先生の話で、失敗してもいいから質問することと、たくさん経験することが大事だとわかりました。先生は話の途中で、私たちにとても気さくに話しかけたり、意見を聞いてくださって、国が違うことや、話す人と聞く人という立場の壁をなくそうとしてくれているように感じました。これからいろんな文化の人が一緒に生きていく中で、たくさん話して触れ合うことが大切だと思うので、必要以上に相手を恐れずに積極的に動こうと思いました。

私は普段、人前で意見を言ったり積極的に動いたりするほうではないので、今回の講演と座談会に突然出ることになって、緊張したし不安でしたが、とてもいい話が聞けて質問もできて、参加して良かったと思えました。これからはもう少し積極的に行動してみようと思います。もっと色々な話を聞きたかったです。本当に貴重な体験を下さりありがとうございました。

◆サコ先生の話聞いてこれからの自分に必要なことが分かった気がします。ひとつめは、多様性についてです。以前先生の書かれた本を読ませてもらったときに、先生



が「多様性」という言葉をよく使われていました。僕は、今まで、限られた世界にしかおらず考えたこともありませんでしたが、今回のセミナーで、これからの未来を生きていく中で、意識していかないといけないことなのだやと理解できました。特に私の今の課題として、サコ先生もおっしゃっていたように物事に先入観を持ってしまいがちなので、それだと自分の中での多様性も生まれないので、相手の人間を一人の人間として認めあいながら生活や出会いを大切にしていこうと思いました。

ふたつめは、私が先生にした質問への返答です。海外大学進学について「日本を客観視できる」と言われたことが新鮮でした。先生のような多数の留学を経験してきた方に言われると、しっかり納得できました。これからの日本にいる高校時代からでも世界から見る日本を少し意識して生活して、世界への準備をしていきたいと思えます。

5年後にどこの国で何を学んでいるか、誇りをもってサコ先生にお伝えできるようにあらゆる可能性を信じながら、あきらめず、努力していきたいと思えます。

◆本日は遠いところから関高校へ講演会にお越し頂き、本当にありがとうございました。2時間、とても有意義な時間を過ごすことができました。実は、事前に『サコ学長、日本を語る』を拝読させて頂き、「こんな面白い方の話を聞けるなんて自分ラッキーやん!」と思い、今日の講演会が楽しみで仕方ありませんでした。

サコ先生が日本社会のおかしさに「なんでやねん」とツッコミをなさるように、物事を客観視することでこれまで気づかなかった様々な課題を発見できることを学びました。このことを知り、今まで世間ってこういうものなんだと決めつけていた自分とは違う自分が見えてきました。学校と地域・家庭では違う教育をすることが多くのフレームをつくり、多様性のある人間となることに繋がることにとても納得しました。

また「自分のヴォイスを持つこと」、すなわち自分の意見を周りにはっきりと言えることが大切だという内容が心に刺さりました。私は周りに流されやすいために、周りがそうだと決めつけてしまうことに何も言い返せないことが多々あります。しかし、自分を変えることができる人は自分の思いをはっきり言える人。何事にも恐れず挑戦できる人だと気づきました。今後失敗を恐れず、自分の軸を持って積極的にいろいろなことに取り組んでいきます。

21世紀のグローバル化に向けて異文化理解は必須となってきます。私は大学に入ったら留学に行きたいと考えています。ただ異文化を学ぶだけでなく、自文化と異文化を結び付けて日本では気づけなかったことを深く学び、サコ先生のように異文化の色々な学生とコミュニケーションを沢山取り、世界と手を取り合える一員になりたいです。

◆私はサコさんのお話を通して、グローバル化し多様化する世界の中で最も大事なものは、自分の核を持ち続けることが一番大事だと感じました。

「世界に行き経験を積み、自分が、自分の町や国の本当の姿が見えてくる」というのは、自分のこれからのにとって非常に必要になってくるのだと思えます。たとえば、自分の夢はモノづくりの発想力を活かし、IT企業を立ち上げ、いつかは世界を変えることです。これを目標にしていくなれば多様性のあるような活動は欠かせません。多くの価値観がある中でも自分の核、根にある気持ちを忘れず、より積極的な人間になっていきたいです。

今回の講話では、グローバル化を考えることで自分や日本人について深く考えることが出来ました。サコさんの言葉を胸に絶対にIT企業を立ち上げ、世界を変えてみせます!

本当にありがとうございました。

